

令和5年第1回  
西条市教育委員会 1月定例会会議録

西条市教育委員会

# 令和5年第1回西条市教育委員会 1月定例会会議録

## 1 開会及び閉会

開 会 12月23日(金) 午後3時30分  
閉 会 同 日 午後4時30分

## 2 出席及び欠席

出席者 教育長 伊藤隆志  
教育長職務代理者 福田亜弓  
委 員 磯 恒子  
委 員 鳳 慶洲  
委 員 一色一成

## 3 会議に出席(欠席)した者

事務局長 三好昭彦  
教育指導監 松本卓也  
副局長兼教育総務課長 串部佳隆  
教育総務課主幹 村上彰彦  
学校教育課長 戸田章裕  
学校教育課指導主幹 黒河幸彦  
学校教育課指導主幹 内田賢一郎  
社会教育課長 前谷浩教  
人権擁護課長 安倍和紀  
西条図書館長 越智秀樹  
教育総務係長 青野洋士(欠席)

## 4 会議録署名委員

3番委員 鳳 慶洲  
4番委員 一色一成

5 議 案 議案第1号 西条市高等学校奨学金に関する条例施行規則及び西条市大学奨学金に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

6 傍 聴 者 なし

## 7 議事の概要

伊藤教育長 ・ただ今から、令和5年第1回教育委員会1月定例会を開催する。  
・私事で僭越ではあるが、12月定例議会において教育長再任案に同意いただいた次第であり一言申し上げます。

(伊藤教育長 再任の挨拶)

・続いて、令和5年1月25日で再任される福田委員にご挨拶  
いただく。

福田教育長職務代理者 (福田委員 再任の挨拶)

伊藤教育長 ・本日の会議録署名委員に鳳委員と一色委員を指名する。  
・日程第3 教育長の報告に入り、事務局長に報告を求める。

三好事務局長 ・教育長の事業、実施18件、予定16件等について報告する。

伊藤教育長 ・この報告について質問等ないか問う。

福田教育長職務代理者 ・本日12月23日に2学期の終業式が行われたが、今朝はとて  
も寒く、道路の凍結が無かったかなど、子どもたちが少し心配  
になった。混乱等はなかったか。

黒河学校教育課指導主幹 ・調べたところ凍結等は無く、無事に登校している。

礒委員 ・伊藤碧さん、後田翔平さんの件早々に対応いただき感謝する。  
16日の西条南中合唱部の議場コンサートを見せていただいた  
のだが、ドーム型のような音の響きで、ああいう場を与えられ  
たことが生徒にとっては成果につながるし、良いことであつた  
と思う。市議会議員がどのような反応や感想であつたのかお聞  
きしたい。また、今後全国大会に出場しないような年があつて  
も継続して実施するのか教えていただきたい。

三好事務局長 ・当日の武田議長のお礼の挨拶も想いが伝わるようなものであ  
つたが、翌日に教育委員会に來られて、大変素晴らしい歌声で  
あつたと改めて仰っていた。個別に議員さんからも心が洗われ  
て良かったという言葉がいただいた。正式な決定ではないが、  
武田議長は次回開催についても前向きに話をされていた。

伊藤教育長 ・ほかに意見等ないか問う。

(意見なし)

伊藤教育長 ・続いて日程第4 議案に入る

・議案第1号「西条市高等学校奨学金に関する条例施行規則及び西条市大学奨学金に関する条例施行規則の一部を改正する規則について」を議案とする。事務局より説明を求める。

議案第1号「西条市高等学校奨学金に関する条例施行規則及び西条市大学奨学金に関する条例施行規則の一部を改正する規則」について（※戸田学校教育課長説明）

伊藤教育長

・この報告について質問等ないか問う。

一色委員

・これは日本学生支援機構と連携しているのか、それとも独自で行っているのか。また、日本学生支援機構の奨学金を利用しながら追加で申請される方が多いのか、西条市のものを単体で申請されている方が多いのかを資料があれば教えていただきたい。

戸田学校教育課長

・現行の奨学金制度についてはそれぞれ独立した形での運用となっている。日本学生支援機構が内容的にも額が大きいため利用者が多いのが現状であるが、本市の貸付制度との併願はできないようになっており、基本的には日本学生支援機構奨学金を希望されて、残念ながら意にそぐわなかったような方の受け皿というような形でご利用いただいている方が少なからずいる。

一色委員

・併願ができず、審査が通らなかった方の受け皿としていることで回収率がなかなか上がらないということが数字を見て取れたが、回収率はこのままでいいのか、それとも回収率を上げていこうという仕組みが今回の改正案以外であるのか教えてほしい。

戸田学校教育課長

・利用者は学生ということで、一定の据え置き期間を経たのち、就職されてから返済開始になるというようなことで、比較的堅調に償還をしていただいているところであるが、遅れている方については多くは病気や心身的な問題で会社に出にくくなったような方が多い状況である。これら一定遅れている方についてはまずは電話や訪問等を行い回収に向けた動きをしていくわけであるが、この制度については保証人を事前に用意いただいているのでそちらにも働きかけていく。取り組みとしては貸付が終わった段階で改めて償還の必要性を文書案内しているところで、引き続きそういった形を継続していく。

鳳委員

・奨学金の支援対象者が高校生と大学生ということであるが、

例えば高校生で定時制や通信制、大学生で夜間の方なども対象になるのか。というのも色々な事情で通信制や夜間に通われているという話を最近よく聞き、通信制であってもかなり高い学費の場合もあるため質問させていただいた。

戸田学校教育課長 ・その質問については確認して改めて回答する。一つ言えることとしては、西条市奨学金は高校生を対象としているが日本学生支援機構奨学金は高校生は対象としていない。そういったところで西条市の独自性のある制度としている。

伊藤教育長 ・ほかに意見等ないか問う。

(意見なし)

伊藤教育長 ・意見がないようなので採決してよいか問う。

(異議なしの声)

伊藤教育長 ・議案第1号「西条市高等学校奨学金に関する条例施行規則及び西条市大学奨学金に関する条例施行規則の一部を改正する規則について」に賛成の方の挙手を求める。

(全員挙手)

伊藤教育長 ・議案第1号について、原案通り決することとする。  
・続いて日程第5 その他に入る。事務局から説明を求める。

(1) (仮称) 西条市東部給食センター整備・運営事業の進捗状況について

※村上教育総務課主幹説明

伊藤教育長 ・ただ今の説明について意見等はないか問う。

一色委員 ・1日に4,500食作れる機能があるとして、もしその日に4,500食作れなかった場合の対策についてはこのあと行われる提案書に入ってきて審査の基準になるのか。また、15年間運営していくなかで児童数の減少ということはあると思うが、フードロスの観点を含め、民間事業者として地域との連携をする予定があるのか。例えば残った材料を使って地域の人たちに食べてもらったりする機能があるのかということと、災害等で協定が結ばれるような予定があるのかを知りたい。

- 村上教育総務課主幹
- ・大量調理になるのでその辺のリスクの関係については民間事業者からご提案いただく形を考えている。PFIに参加される事業者は日本全国で色々なノウハウを持っているので、例えば機械が壊れたときやコロナで調理員がいないときなどのバックアップ体制について事業者の説明を求めている。市も一体となって4,500食を確実に提供するというのを今後事業者の選定時もそうだが、事業者が決まってから運営方法の詳細を決めていく際にも綿密に決めていきたいと考えている。
  - ・2点目の15年間の運営、非常に長くなるので児童生徒数は減っていくような推計となっている。民間事業者には今現在の生徒数、5年後10年後15年後と市の推計による児童数の流れを示している。事業者にはそれに対して効率よくロスのないような運営方法を提案するようお願いしている。また、東部給食センターでは神拝小学校を当初入れないという形にしており、想定では令和15年から令和17年頃に取り込むようにしている。4,500食から段々減っていき、3,500食程度になるが、そのタイミングで神拝小学校を取り込むことで施設のロスができるだけないような仕組みを考えている。
  - ・地域と連携したフードロスの関係については今のところないが、事業者の方から地域も巻き込んで試食会をすとか給食祭りとか新たな提案も求めている。
  - ・最後に災害の方であるが、民間事業者に市が求める要件ということで項目を挙げている。その想定では災害の際、センターにあるお米や水や備品を活用し、近隣避難所の総合体育館の定員が2,000人であるので2,000人の三日分の非常食を用意できるような提案をするよう要求水準書で投げかけている。
- 伊藤教育長
- ・ほかに意見等ないか問う
- (意見なし)
- 伊藤教育長
- ・続いての報告事項について説明を求める。
- (2) 令和5年度の給食費について
- ※村上教育総務課主幹説明
- 伊藤教育長
- ・ただ今の説明について意見等はないか問う。
- 福田教育長職務代理者
- ・努力、工夫をして給食準備をしていただいている職員には感謝したい。物価が高騰して生活も苦しい時代に入ってきた。給

食費については国内でも議論が重なっていると思うが、価格を抑えるために栄養価が落ちるとか、量を減らすということは保護者も望んでいないのではないかと思っている。ただ、生活水準が上下しているので、価格を上げるということがどれだけ保護者の理解を得られるかというのは少し不安視している。そのためにはどうして上げるのかという丁寧な説明が求められると思うので、保護者への説明をよろしく願いたい。

・先ほど話のあったPTAの給食費についてのアンケートの結果で、値上げは仕方ないというようになったと受け取っているが、合っているか。

村上教育総務  
課主幹

・アンケートについて補足させていただく。第1回目を11月に行ったときに代表して4名の方が給食会に出ていただいた。流石に私たちの意見だけでは決めきれないということで常任委員会の方に持ち帰っていただいたところ、各学校の会長にアンケートを取ろうということになった。その結果一番多かった回答がこの20円～30円で、次に多かったのがもっと上げて構わないという意見で、三番目が10円～20円であった。PTAでは先ほど話のあったように栄養素を落とすとか量を減らすことは避けて、必要な分は苦しい家庭もあるだろうが、保護者も負担しないといけないということになった。30円というのは中学生の方が食べる量が多いので上げ幅を大きくしている。ということでアンケートの結果がこの金額である。

・今年度は国の財源もあり30円の補助を入れている。うち今までの物価上昇分は20円であり、地産地消も進めようということで30円にしている。また、栄養士の先生が前回の値上げから現在で同じ給食を出した場合どれくらい食材費が上がっているのかという試算をしたところ、日によって違うが15円～30円近くになった。そういったデータももともと給食会の方で20円～30円という金額ができた。

福田教育長職  
務代理者

・数値というのは非常にわかりやすいと思うので、そういったものを説明で出せるのであれば願いたいと思う。

一色委員

・先ほどの話の中で要望事項を見せていただいたが、価格の状況を注視して食材価格が低下した場合に給食費の金額を変更することとあるが、実際に行うのは相当難しいと思う。物の価格がいくらというのは計りにくく、検討をしている間に短期間で上下するため決定しにくい。他にやり方がないかと考えていたが、例えば一食あたりの単価の基準になる金額が出て、よく飛行機を利用すると燃料調整費が別途ついていたりすると思

うが、その時に合わせて上昇分下降分今年はこの幅くらいでいきたいと思うというものを別途設けてそれに対して議論するようなことは、燃料費が価格に乗りやすい業界ではよくされている方法であると思う。また、自分たちの市の児童生徒として認識するのであればこういった実態を市民に訴えかけて寄付を募るなど、様々な方法で出してくれる方は沢山いると思うので、例えばLOVESAIJOポイント等、できるかはわからないが色々なところに間口を広げるのもありなのかなと思う。もしできそうであれば検討してみたい。

村上教育総務  
課主幹

・貴重な提案感謝する。今回急激な価格高騰というところがあるので、今回はこれくらい上げさせてもらい今後は物価の状況を注視し、来年度は減らすなどといった変動制のようなことも考える必要があると思っている。財源についてなかなか市民の方に給食費を出してもらおう仕組み作りは難しいかもしれないが最近クラウドファンディングなど様々な仕組みがあるのでそういったことも一定ご理解いただける場合は取り組んでいきたいと考えている。

伊藤教育長

・ほかに意見等ないか問う

(意見なし)

伊藤教育長

・続いての報告事項について説明を求める。

(3) 学年閉鎖・学級閉鎖状況について

※戸田学校教育課長説明

伊藤教育長

・ただ今の説明について意見等はないか問う。

鳳委員

・私の地元の小学校でも学級閉鎖があり、お会いできた限りの児童や保護者から話を聞いたのだが、皆さん理解も進みだいぶ落ち着いた対応をしていると思う。また軽症者や濃厚接触者で自宅待機している児童は自宅でタブレットによる授業を受けられるので、保護者の方は安心してた。感染については児童だけでなく先生も同じであると思うが、配慮や工夫をしながら少しずつでも通常に戻っていただきたい。

・最近ニュースで文科省が給食中の黙食を求めないといった内容を見たのだが、松山市は当面黙食を継続するとしている。西条市はどのような方針か。



黒河学校教育課指導主幹 ・児童数や学校の実情に合わせて対応してもらっており、絶対に黙食をするというような通知は出していない。

伊藤教育長 ・ほかに意見等ないか問う

戸田学校教育課長 ・先ほどの西条市奨学金の対象についての回答であるが、これまで通信制や定時制といった方からの申請は無い。現行規定によると、対象者は高等学校またはそれと同等の学校に在学する者となっていることから、通信制や定時制の方も対象となるため、要望に対してはお応えしていきたい。

伊藤教育長 ・令和5年第1回教育委員会1月定例会を閉会する。

了

会議録署名委員

3 番委員

4 番委員